



2020年4月16日

株式会社メガネトップ

【訂正とお詫び】2020年4月16日(木)13時に公開いたしましたプレスリリースに誤りがありました。 訂正箇所:商品写真キャプション右上、右下 正しい内容は以下の通りです。

# 国内 1000 店舗目前のタイミングで海外進出 「眼鏡市場」 台湾に1カ月で5店舗出店

"日本品質" 現地では珍しい「薄型・遠近両用レンズ料込み」を提供

メガネ、コンタクトレンズ、補聴器の販売、その他関連商品の販売を行う株式会社メガネトップ(所在地:静岡県静岡市、代表取締役社長 冨澤昌宏)は、海外1号店となる「眼鏡市場 統一時代百貨店台北店」を台湾に出店し、本日までに5店舗をオープンいたしました。各店のオープン日は以下の通りです。





左:眼鏡市場 統一時代百貨店台北店

右上:i-ATHLETE IA-457 (23,100 円・税込) 右下:eyerouge ERG-307 (19,800 円・税込)

<オープンスケジュール>

3月20日 眼鏡市場 統一時代百貨店台北店

3月27日 眼鏡市場 SOGO 百貨台北忠孝店

眼鏡市場 SOGO 百貨新竹店

4月15日 眼鏡市場 遠東百貨桃園店

4月16日 眼鏡市場 台中大遠百店

なお、台湾出店にあたり当社の 100%子会社である台湾現地法人「台灣頂點眼鏡市場股份有限公司」を設立し店舗運営しております。

\*「眼鏡市場」「ALOOK (アルク)」「レンズスタイル」は当社のグループ店舗です

### ●さらなる事業拡大を目指し初の海外進出 台湾で 100 店舗を目指す

当社は設立当初から国内の事業拡大を最優先に取り組んできました。その中で、2020 年内に 1,000 店舗達成がみえてきた中で、次の企業成長を目指して本格的に海外進出の準備をはじめました。約 5 年前に海外事業プロジェクトを立ち上げて様々な国と地域にリサーチをかけ検討し、台湾への進出を決定しました。

台湾のメガネマーケットは日本と同じく高齢化が進んでいること、現状現地の眼鏡店ではレンズとフレームが別々に販売されていることから薄型・遠近両用追加料金なしのスタイルが支持されると見込んでいます。この1カ月間でオープンした5店舗は、百貨店のテナントで、主要都市への出店となり、今後は5~8年後を目途に地方都市を含めた台湾全土に100店舗を展開する予定です。

海外 1 号店となる『眼鏡市場 統一時代百貨店台北店』がオープンして間もない頃、台湾各地から「台北だけでなく、私の住む地域にも出店予定はありますか」といった問い合わせが約 50 件あり、今後の台湾全土への出店計画にも自信を得ています。

## ●グローバルに通用する"日本クオリティ"と"おもてなし"でボーダーレスな"半医半商"ビジネスを展開

国内店舗においてもインバウンド需要が高まっており、ボーダーレスが進んでいます。当社では、社員教育のほぼ 100%を社内で実施しています。この度の台湾進出において、現地採用したスタッフには国内店舗の視察をはじめ、当社が 10 年かけて作り上げた独自の社員教育に従って研修を実施しました。これは、国内店舗においても訪日外国人のお客様に、当社の"品質""おもてなし"さらには一人ひとりのニーズに合わせた提案が好評を得ていたことから、特に日本人と価値観が似ている部分が多いといわれる台湾の人たちにも支持される商品とサービスのご提供ができる自信がありました。

メガネは、"半医半商"つまり医療と密接に連携した商品ですので、地域の医療の規制やルールにも精通していなければなりません。また、"ちゃんと見えること"は人々の豊かで幸福な暮らしを支える根幹部分と言えます。当社では、今回進出した台湾で、人々の"ちゃんと見える"に貢献してまいります。

# ●創業 40 年の節目に国内シェア No.1 企業として、さらなる発展を目指し"関わる皆の幸せを実現する"

2020年は当社の創立40年の節目の年です。これまでも、これからも、社員教育、おもてなしを強化することで見えるメガネ、見える喜びを提供できる販売の仕組みを構築し、人々の"見える"を支援する商品を扱う企業としてお客様、働く人たち"関わる皆の幸せを実現する"をミッションとして事業を展開してまいります。

### 【会社概要】

社名 株式会社メガネトップ

所在地 静岡市葵区伝馬町8番地の6 トップセンタービル 8F

代表者 代表取締役社長 冨澤昌宏

設立年月日 1980年5月

資本金 100 百万円 (2019 年 3 月末)

事業内容
メガネ、コンタクトレンズ、補聴器の販売、その他関連商品の販売

店舗数 国内 988 店舗(メガネトップグループ合計)※2020 年 4 月 1 日時点

従業員数 4,574 人 (2019 年 3 月末)

ウェブサイト https://www.meganetop.co.jp/

<本件に関する報道関係者からの問い合わせ先>

メガネトップ広報事務局

担当:小林 (携帯:080-3498-2239)

TEL: 03-5411-0066 FAX: 03-3401-7788 E-mail: pr@netamoto.co.jp